

財っ子通信 第6号 文責 校長：三樹和幸

やりたいこと できることが増え

やらなければならないことが確実に定着し みんなが伸びる学校

財光寺小学校

電話：54-2825

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

運動会の練習が本格化してきました。保護者の皆様には、体育着の洗濯など、準備でご苦勞をおかけします。

また、気温の日較差も大きくなってきており、体調管理も大切な時期ですので、宜しくお願いします。

大きな声援を

運動会での一番の思い出は近づいてくる徒走の順番のドキドキ感です。自分の前に何列もある時は、少し余裕があるのですが、スタートラインが見えるぐらいの順番になってくると友だちとおしゃべりどころではなくなり、無言。

緊張がクライマックスの状態です。スタートし、ゴールとともに緊張が解けた記憶があります。子供たちが運動会の日には疲れるのは、このドキドキ感が大きいと思います。

子供にとっては何位になるかが大きいのですが、徒走で1番になれる子はその列で一人です。しかし、頑張れる子一人ではないはず。何位になろうが、全力を出し切る姿をご家庭で称賛してください。1位の子も素晴らしいが、そこに追いつこうと頑張っている子も素晴らしい。そうでなければ、「どうせ僕なんて」となり、1位でなければ認められないと勘違いしてしまいます。

運動のよきは「がんばれー」と大きな声で励ませることです。我が子の名前を呼んで励ませる絶好の機会です。どうぞ、大きな声援をお願いします。



世界とつながる

2学期に入り、高学年は世界交流ができました。

まず、6年生は、

インド洋上のホクレア号

ハワイの帆船関係者

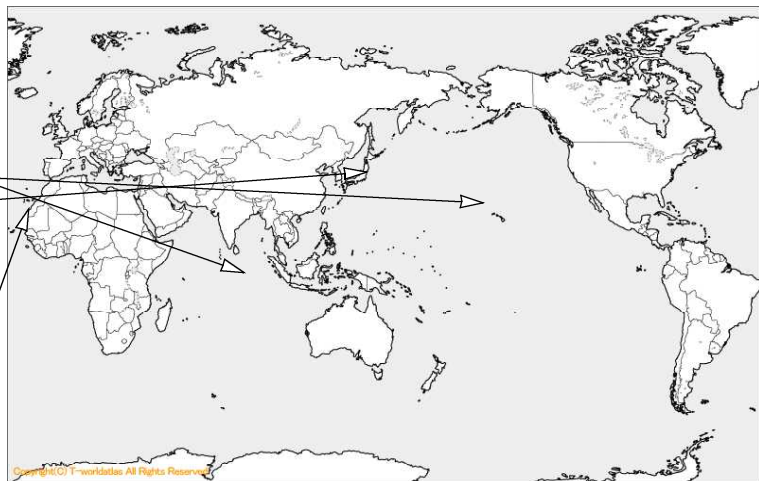
横浜の航海協力者

を結んで、インターネット回線による4元中継で古代の航海技術で航行する船と学習をしました。

5年生は

セネガルのリンゲール市の学校との交流が始まりました。この交流は1年かけて行うもので総合的な学習

の時間を使って、多様な価値観を学び、つながるために何をなすべきかを考えていくキャリア教育の一環でもあります。現地の協力者（日本青年海外協力隊員）にも計画に加わってもらっています。セネガルと日本の小学校を結ぶ取組は本校だけですので、今後の展開が楽しみです。



お願い

毎回、ほとんどの保護者の方は、熱心に授業での子供の様子をご覧頂いているのですが、時々、**保護者のおしゃべり**で子供たちや先生が学習に集中できない状況が見受けられます。

久しぶりに会った友だちとの会話は大切であるし、人間関係上疎かにできないことではあります。授業中**はご遠慮下さい**。授業を見てください。日向市では「日向の大人はみな子供たちの先生」をキャッチフレーズに市民総ぐるみの教育を推進しています。子供たちに見せるべき大人の姿をお願いします。